



発行所 山鹿市民医療センター 〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地 TEL 0968-44-2185(代) FAX 0968-44-2420

第25回熊本県国保地域医療学会(オンライン)に参加しました

令和3年10月23日(土)、熊本県国保地域医療学会に参加しました。新型コロナウイルス感染症の影響により、国保学会としては初めてのZOOMによるオンライン学会となりました。遠方の人たちとコミュニケーションをとりながら、自分たちの研究や事例を発表し、議論して研鑽を積むことが出来ることを実感する機会になりました。

今年の学会テーマは、「Withコロナ時代の地域医療」でした。長期化するコロナ禍の中で、様々な場面でWithコロナの新しい生活様式への変革が求められています。当センターからは手術室看護師の宮本智子が「エビデンスを理解した術前処置～手術室ローテーション研修を試みて」、救急看護認定看護師の川口文香が「救急外来での発熱患者受け入れ態勢の整備」の計2題を発表しました。

当センターで行っている看護について、現状の分



析・問題の明確化を行い、取り組んだ内容を学会で発表したことで、自分達の看護を振り返る良い機会になりました。また、喜ばしいことに発表者の2名は優秀者として選出されました。今回参加したことで、オンライン開催でも活発に質疑応答や意見交換ができることが実感でき、発表の経験も有意義なものになったと思われます。

他施設の演題についても、コロナ禍での患者さま対応や地域医療に関するものが多く、大変勉強になり、看護の視野を広げることが出来ました。どのような環境においても、理想の看護を追求する想いを絶えず持ち続け、発信していく重要性を再確認しました。

今後も、患者さまにとってより良い看護を行うためにはどうしたら良いかを考え、看護の質の向上に努めて行きたいと思ひます。

(文責：副看護師長 横手 貴子)

基本理念

いのち

地域住民の生命と健康への貢献

基本方針

山鹿市民医療センターは

- ① 患者さま中心の信頼される医療を行います
- ② 診療機能の充実に努め、質の高い医療を提供します
- ③ 地域の保健、医療、福祉の連携を推進します
- ④ 研修、研鑽に努め医療レベルの向上を図ります
- ⑤ 健全経営に努めます

CONTENTS

第25回熊本県国保地域医療学会(オンライン)に参加…	P 1
登録医のご発言・新任挨拶……………	P 2
医療最前線……………	P 3
外来担当医表(12月)……………	P 4

登録医のご発言



東内科小児科医院
院長 東 沙羅 先生

初めまして。この度、父からの継承も含め東内科小児科医院に勤務することになりました東 沙羅（ひがし さら）と申します。専門は循環器内科です。簡単にプロフィールを申しますと、私は福岡県福岡市城南区出身であり、筑紫女子学園中学校・高等学校を経て福岡大学医学部に入学、卒業後は福岡大学病院で研修をしました。地域医療研修では種子島医療センターでも研修し、屋久島の診療所にも行きました。特に超急性期～急性期の治療に興味があり、同大学の救命救急センター（現在、テレビのニュースでよく紹介されているECMOセンターもあります）で半年以上研修させて頂き、防災ヘリでの訓練やドクターカーでの出勤も経験しました。2年間の研修を終えて、超急性期から慢性期まで対応できる循環器内科を選択し、福岡大学病院の医局に入局しました。入局後は済生会福岡総合病院、鹿児島の出水総合医療センター（何度か熊本労災病院にも救急搬送で行きました）、福岡の白十字病院で勤務をし、多忙な日々を送っていましたが、急遽、山鹿

の当医院にやって参りました。

当院では、祖父の時代から行っている小児診療は継続して行っており、最近では健康診断や人間ドックの二次健診目的で来院される方も多いです。また、新たに心エコーも施行可能となっており、症状に合わせてCT検査も随時行っています。

私はまだまだ未熟な所もありますので、更なる学位取得と専門医取得に向けて精進していきます。来年度以降は大学病院と当院での診療を両立して行う予定です。

この度は、山鹿市の医療に従事することができるようになりとても光栄に思います。今後は皆様の健康を支えられるような、生活の一部となれるような医療を提供できたらと思います。



新任挨拶



消化器外科 松村 和季

令和3年10月より赴任することになりました外科の松村和季です。悪性疾患や良性の消化器外科手術を始め、化学療法など行って参ります。山鹿には今まであまり縁がありませんでしたが、これを機に山鹿の良さに触れられたらと考えております。何か困られたことやご相談はいつでもお受けします。気軽にお声かけください。

医療最前線 (137)



成長期の下肢疲労骨折

整形外科

中原 達秀 先生

スポーツ従事者に生じる下肢疲労骨折の好発年齢は15～17歳であり、成長期に多いことが知られています。疲労骨折の生じるメカニズムは、micro-damageの発生とその修復バランスの破綻で生じると言われています。外力負荷により骨に小さなcrackが生じ、修復される前に更なる負荷がかかることでcrackが増大し、最終的に骨折を生じてしまいます。疲労骨折が見逃され、疼痛を我慢しながらスポーツを継続してしまうことにより、将来にわたり運動器障害が残存するリスクがあります。

以下で比較的頻度の高い下肢の疲労骨折についてそれぞれ解説します。

■脛骨骨幹部骨折

- ①疾走型：長距離走などで生じ、脛骨近位1/3部および遠位1/3部に圧迫力が加わることで生じます。予後は良好で、2～3ヶ月の安静で治癒します。
- ②跳躍型：バスケットボールやバレーなどの跳躍系スポーツで生じ、脛骨中央に牽引力が加わることで生じます。難治性で6ヶ月以上の安静を要します。

■足舟状骨骨折

つま先立ちにより、舟状骨への荷重負荷や後脛

骨筋などの牽引力が生じることが誘因となります。スポーツ活動の中止のみでは治癒しにくく、6～8週間の免荷とギプス固定が勧められます。

■第2・3中足骨骨折(行軍骨折)

第2・3中足骨は第1中足骨よりも長くなっていますが、足アーチにより第2・3中足骨頭の荷重を軽減する構造となっています。しかし、地面からの衝撃力と足底筋群の牽引力作用によって、足アーチにたわみが生じることにより第2・3中足骨に過剰な負荷がかかり疲労骨折の誘因となります。治療には1～2ヶ月の安静を要します。

■第5中足骨基部骨折(Jones fracture)

つま先立ちで外側荷重となった際に、短腓骨筋や第3腓骨筋の牽引力が加わり、第5中足骨基部への過剰負荷が生じることが誘因となります。難治性であり、早期復帰を目指して手術療法が行われることが多いです。

日常診療におきまして、部活動やクラブ活動中のお子様の原因不明の疼痛で受診された際は疲労骨折も念頭に置いていただければ幸いです。成長期の児童を診察する際は、自己表現が苦手な場合もあるため疼痛部位を直接見て触れることが大変重要と考えます。診断に難渋される場合などは、お気軽に当院へご相談ください。今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。

原稿を募集致します

登録医の先生の投稿を歓迎いたします。400～800字程度を基準とします。

送付先 〒861-0593 山鹿市山鹿511番地 山鹿市民医療センター 地域医療連携室

ホームページをご利用下さい。病院の最新情報をご覧になれます。

<http://yamaga-medical-center.jp>

外来担当医表

12月

診療科名	月	火	水	木	金
呼吸器内科	※御任 玲美	※猪山 慎治	※後藤 英介	—	※後藤 英介
腫瘍内科	—	—	—	—	宮本 英明
消化器内科	上野 茂紀 (本原 利彦)	富口 純	本原 利彦	富口 純 (上野 茂紀)	本原 利彦
内分泌・代謝内科	川崎 修二	—	川崎 修二	—	川崎 修二
循環器内科	大庭 圭介 清水 博	大庭 圭介 清水 博	※1 中嶋 直也 担当医 (予約のみ)	大庭 圭介 清水 博	大庭 圭介 清水 博
整形外科 (紹介外来制)	高木 茂 横田 秀峰 荒木崇土/中原達秀	工藤 智志 荒木 崇土 中原 達秀	手術 (担当医)	高木 茂 工藤 智志 横田 秀峰	手術 (担当医)
外科	別府 透 赤星 慎一 織田 枝里	手術 (担当医)	別府 透 赤星 慎一 (織田 枝里)	手術 (担当医)	別府 透 赤星 慎一 山村 謙介
乳腺外科	—	※末田 愛子	—	—	—
泌尿器科	—	※非常勤医師	—	※非常勤医師	—
小児科	※石井 真美 9:00~16:30まで	※徳永 郁香 (小児一般・ アレルギー外来)	※石井 真美 9:00~16:30まで 予防接種(午後)	※石井 真美 9:00~16:30まで	※徳永 郁香 (小児一般・ アレルギー外来)
セン タク ー 器	耳鼻咽喉科	—	※非常勤医師	※非常勤医師	—
	眼科	木山 優	木山 優	木山 優	木山 優
産婦人科	福島 泰斗	福島 泰斗	福島 泰斗	福島 泰斗	福島 泰斗
	※片渕美和子(午後) 12/7(火)、9(木)、14(火)、21(火)、23(木)、28(火)				
総合診療科	吉岡 明子	—	吉岡 明子	—	吉岡 明子
救急外来	外科医(午前) 整形外科医(午後)	吉岡 明子	大庭 圭介	消化器科医	外科医(午前) 担当医(午後)
健診	豊永 政和 富口 純	豊永 政和 上野 茂紀	豊永 政和 富口 純	豊永 政和 上野 茂紀	豊永 政和 上野 茂紀

◎診療時間は8:30開始で11:00(小児科は16:00)受付終了となります。
 当日の受診に関する相談を除く電話は、14時から17時が受付となります。
 ※ 非常勤医師です。 ※1 第2、第4水曜日のみ診療となります。

特殊・専門外来

12月

名称	担当医等	実施日	診察場所
緩和ケア外来(予約制)	織田 枝里	毎週 月曜・水曜 (11:00~12:00)	Bブロック
外来化学療法(予約制)	担当医	毎週 火曜・水曜・金曜	各診療科
禁煙外来(予約制)	坂田 和子	毎週 月曜(午後)	Aブロック
睡眠時無呼吸外来	坂田 和子	毎週 火曜・木曜(午後)	
小児科予防接種	※石井 真美	毎週 水曜(受付時間13:30~15:30)	
ストーマ外来	担当医	毎月 第3水曜(午後)	Bブロック
女性外来(婦人科、思春期、更年期)	※片渕美和子	12/7(火)、9(木)、14(火)、21(火)、23(木)、28(火)	
PEG外来	担当医	毎週 第2・4水曜(午後)	
両親学級(予約制:産婦人科)	助産師	第2・第4木曜日(13:30~15:30) ※産婦人科へお尋ねください。	5階病棟
セカンドオピニオン外来(予約)	各専門医が担当します。詳細はホームページをご覧ください。 予約については地域医療連携室にお尋ねください。		

◎特殊・専門外来については、各診療科にお尋ねください。
 ◎急患の場合は、この限りではありません。
 ご注意:学会等の都合で変更になる場合があります。
 ◆最新の担当表は、ホームページをご覧ください。

山鹿市民医療センター

〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地
 TEL(代表)0968-44-2185 FAX 0968-44-2420
<http://yamaga-medical-center.jp>